

## 2012 年 G20 サミットに向けたセーブ・ザ・チルドレンの政策提言

### 世界経済危機と栄養不良

世界の首脳たちが次から次へと降りかかる経済危機への対応に追われる中、何百万人もの子どもたちを襲う飢餓と栄養不良の問題は見過ごされてきました。世界中に蔓延している慢性的な栄養不良により、何百万人もの子どもたちの可能性が打ち砕かれ、ゆっくりと世界経済の基礎が蝕まれています。

2012年のG20首脳会議は、食料安全保障問題への大きな突破口を開く機会となります。私たちは既に世界の栄養不良を削減する解決策を知っていますが、それらを機能させるには政治的コミットメントと強いリーダーシップが求められています。世界経済危機と栄養不良問題の同時危機に対して、栄養不良への対応策、栄養に重点を置いた農業、そして社会的セーフティネット構築への追加投資が必要とされています。G20各国による早期の対策と強いリーダーシップにより、飢餓と栄養不良の問題に終止符を打つ歴史的な一歩に向けた基盤を築くことができます。

## **栄養不良の課題**

毎日毎時、300人の子どもたちが栄養不良で亡くなっています。たとえ生存している子どもたちであっても、長期的な栄養不良は破壊的、かつ回復不可能なダメージを子どもたちにもたらします。栄養価の高い食料の不足は、感染症や病気への罹患と相まって身体や脳の適切な成長を妨げます。少なくとも1.7億人の子どもたちが発育阻害の影響を受けています。

これは、年齢に応じて身長が伸びていないというだけでなく、就学時期の遅れや学力の遅れが見られる可能性が高いということです。また、幼少期の栄養不良は生産性の低減とも関係しており、発育阻害の子どもたちが成人した時、通常に成長した子どもたちと比較すると約20%も収入が低くなると予測されています<sup>1</sup>。また、栄養不良問題は、途上国の国家歳入の2-3%減を招くと推定されています<sup>2</sup>。

栄養不良問題は決して新たな問題ではなく、解決に向けてゆっくりと進展を遂げてきました。例えば、栄養不良率は過去20年の間で年間平均約0.6%削減されており<sup>3</sup>、また、近年は解決に向けたコンセンサスの構築と栄養不良問題削減に向けた政治的意思の醸成が見られるなど、大きく改善しました。

しかし、気候変動、食料価格の変動、経済の不安定さ、人口移動など、世界の諸傾向が相まって、栄養不良削減に向けた将来的な進捗は危機に直面しています。もし現状の傾向が続いた場合、セーブ・ザ・チルドレンの推定によると、今後15年の間で4.5億人の子どもたちが「発育阻害」により、脳や身体に不可逆的損傷を受け苦しむこととなります<sup>4</sup>。

また、世界経済の減退が2012年および2013年にも継続した場合、状況は更に悪化すると予想されます。近年の世界経済危機は、過去最高を記録した食料価格の高騰を伴い、1億人以上の人々を新たに貧困に追いやり、これらの人々は栄養価の高い食料を入手できなくなりました<sup>5</sup>。多くの途上国が2008-09年の経済危機から比較的早く回復しましたが、危機発生時に要した対応により、現在、それらの国の多くに経済的余裕がなくなっており、貧困家庭を保護する予算などもなく、世界経済の急激な悪化に対して脆弱な状態となっています<sup>6</sup>。

G20メンバーのうち10か国を含む、2009年のラクイラG8サミットで示された世界食料安全保障への歴史的コミットメントが2012年に期限切れとなりますが、飢餓問題はまだ解決に至っていません。ドナー各国はラクイラ・イニシアティブでの全コミットメントを達成すべきであり、同イニシアティブで資金がどのように使われ、どのような結果を達成したのかを明確にする包括的な報告書を出すべきです。

農業と栄養不良問題への20年分の投資不足を取り戻すには、ラクイラ食料安全保障イニシアティブによるわずか3年間の支援では足りません。「ラクイラ食料安全保障イニシアティブ」を引き継ぐ新たな取り組みについては先のG8首脳会議で「食料安全保障及び栄養のためのニュー・アライアンス」が立ち上がりましたが、G20は食料安全保障および栄養改善の継続的实施に向けて、長期的な投資やパートナーシップの構築には必要不可欠な資金的、政策的リソースを確保する重要な機会となります。

混迷極める現在の状況において、G20 は世界経済への舵を取る重要な役割を果たすことが求められます。G20 は世界経済危機の影響から最も貧しく脆弱な人々を保護し、隠れた危機である栄養不良問題に対応するための世界的な食料安全保障に向けた持続可能なアプローチを取るべきです。これは経済面でも道理にかなっており、栄養不良を削減することは、強固で持続可能、かつバランスのとれた成長を成し遂げるための G20 の主要課題でもあります。

### 解決策について

栄養不良の危機にある子どもたちや家族に対する解決策は既によく知られており、栄養の専門家にも支持されているものです。「栄養改善拡充のための枠組み(SUN: Scaling Up Nutrition Framework)」は、栄養改善に対する世界的な協調行動において中心的役割を果たすもので、その「ロードマップ」は国家が包括的栄養計画を策定し、導入する際の政治的、技術的、財政的な方途を示しています。

SUN への取り組みの進展に伴い、SUN が機能し、栄養不良削減に向けた協調行動が取られるためには、主要ドナー国と栄養不良の問題を抱える途上国政府双方の協力が必要です。

完全母乳育児や微量栄養素の摂取、栄養価の強化などの既存の直接対応策に加え、飢餓と栄養不良の削減においては農業が重要な役割を果たす可能性を持っています。既に農業への投資計画を有し、追加的な公的資金および民間資金を迅速かつ効果的に活用できる国は 30 か国に上っています。

G20 や他の国々が途上国の国家計画に対し、迅速かつ柔軟な支援が提供できる方法の一つとして、2007-08 年の食料価格危機の際に G20 の要請で立ち上げられた「世界農業食料安全保障プログラム (GAFSP: Global Agriculture and Food Security Programme)」があります。GAFSP は低所得国からの多くの需要により提供可能な資金が枯渇しており、食料安全保障および栄養改善への支援を継続するためには追加資金が必要です。

しかし、農業政策とプログラムの目的は主要作物や高価な園芸作物の生産高向上とされることが多いのが現状です。食料の生産高を増やすだけで子どもたちの命を守れるわけではありません。また、農業生産の増加がそのまま栄養改善をもたらすわけでもありません。

子どもたちやその家族の栄養改善に向けて農業が持つ可能性については、未だに十分に研究され、実施・優先されてはいません。複数の研究結果によると、栄養改善を農業プログラムの明確な目的として据えた場合、食料の量・質、また入手のしやすさがともに向上することが分かっています。飢餓と栄養不良削減において農業が持つ可能性を発揮させるため、食料および農業分野では栄養に重点を置いた政策を優先的に扱う必要があります。

農業、食料安全保障および栄養を統合させる戦略について機運は高まりつつあるものの、国際レベル、国家レベル双方でより一層の対応が求められています。農業政策や農業プログラムの目的に栄養を加えるなど、今すぐ取り組めることはいくつかあります。しかし、農業プログラムが栄養不良削減に与える影響について確かなる証拠を得るには、そして成功例を大規模に展開するための最良の手法や戦略を見つけるためには、更なる研究が必要です。

### 行動を起こすとき

過去 20 年にわたり、発育阻害は世界で毎年わずか 0.6%しか削減されておらず、今こそ対策を取ることが求められています。今年の G20 において、農業と栄養の両分野の連携により飢餓および栄養不良に終止符を打てるよう、参加各国の大きな後押しが必要です。

G20 の多数の国が 2009 年のラクイラ・イニシアティブを支持し、農業大臣による対話の場を提供するなど、G20 は重要な役割を担っています。2011 年に、G20 は「全世界において栄養を視野に入れた農業政策を開発する」と約束しました<sup>7</sup>。その約束を受けて、G20 は 2012 年にどのようにそれらを実施し、かつその中でより栄養改善につながる農業が実施されるよう取り組む G8 の動きを補完的にサポートできるかを特定することが求められます。

セーブ・ザ・チルドレンは G20 に対し、G8 と協調しながらラクイラ・イニシアティブおよび「食料安全保障及び栄養のためのニュー・アライアンス」によりもたらされた機運を維持し、栄養不良の削減により一層焦点を当てよう求めます。

### **セーブ・ザ・チルドレンは食料安全保障と栄養改善について G20 に求めます：**

- 2012 年以降も食料安全保障、農業および栄養改善への**資金的コミットメント**を少なくともラクイラ・イニシアティブと同レベルで維持
  - より多くの資金を栄養改善への直接対応策に配分
  - 世界農業食料安全保障プログラム(GAFSP)に最大限に資金投資
- 複数セクターによる**栄養改善**へのアプローチの優先化
  - 発育阻害削減への世界的目標の設定を支持し、国家レベルで進捗を確認
  - 「栄養改善拡充のための枠組み(SUN: Scaling Up Nutrition Framework)」を公式に支持
  - G20 各国の農業大臣に対し、家庭における栄養を効果的に改善できる農業政策および農業手法について取りまとめ、2013 年のサミットで低所得国支援のためにこれらの知見を活用するメカニズムに同意するよう要請
- 低所得国が危機発生時に貧しく脆弱な人々を保護するための**社会保護システム**を構築し、発展させ、資金投入できるよう支援

### **経済危機**

国際通貨基金や他機関が 2012 年の経済予測を大幅に下方修正しており、また、ヨーロッパの不況が二番底に突入する中、世界は栄養不良によりかかる経済コストをこれ以上負担することができません。開発途上国は世界銀行に、2008-09 年と同様の世界経済危機への準備をするよう助言されています<sup>8</sup>。また、2011 年、史上最高値を記録した食料価格の高騰により、40 万人もの子どもの命が危険に晒されてきました<sup>9</sup>。

ヨーロッパや主要経済新興国における秩序の回復と成長は重要ですが、ヨーロッパにおける危機は低所得国にも広がると予想されています<sup>10</sup>。貿易や世界金融、人口移動などを通じて繋がっている世界において、重要なのは、経済下降や食料価格の高騰・変動から脆弱な人々を保護するため、未だに 2011 年の食料価格高騰の煽りを受けている低所得国を支援する政策やプログラムの導入です。もしこのような支援がなされなければ、貧困削減や保健改善、長期的経済成長への基盤強化などにおける今日までの多大な進展が危険に晒されることとなります。

### **貧困層を保護する**

メキシコ大統領であり、2012 年度の G20 開催国首脳であるフェリペ・カルデロン氏は、G20 が世界経済の立て直しと共に貧困撲滅に取り組むことの重要性をダボス会議で確認し、経済調整の一環としてメキシコの条件付き現金給付スキームである「Oportunidades」などを例にとり社会保護プログラムの重要性を強調しました<sup>11</sup>。

世界の首脳は「ラクイラ食料安全保障イニシアティブ」において、最も貧しく脆弱な人々に長期的な食料安全保障をもたらすためには、長期的には政府主導かつ現金に基づいた社会保護システムと対象を定めた栄養の対応策が必要であるとの認識を示しました<sup>12</sup>。

また、短期的には、地域社会が危機に対応していくための社会的セーフティネットが重要です。とりわけ、食料価格が高騰したり不安定な時は、貧困世帯が継続して栄養価の高い食料を入手できるように、現金やバウチャー(引換券)、食料提供などの社会的セーフティネットが特に重要です。

### 社会的セーフティネットは機能する

アフリカの角において、何百万人の人々が今なお続く食料危機の影響を受けています。しかし、エチオピアやケニアの一部地域では、社会保護とセーフティネット・プログラムへの投資を含む防災対策を何年も講じてきた結果、その取り組みが功を奏しました。1,300 万人もの人々が干ばつの影響を受ける中、上記の地域では国家と国際ドナーの共同の取り組みにより、何百万におよぶ人々が最悪の結果から免れることができました。

危機発生時に社会的セーフティネットを急速に拡大するためには、国内の社会保護システムを構築する必要があります。しかし、低所得国における社会保護の網羅率は未だに低く、世界銀行の推定によるとサハラ以南アフリカにおいては 20%の家庭、南アジアにおいては 30%強の家庭しかセーフティネットへのアクセスがありません。

世界銀行の緊急社会対応プログラムは、特に低所得国の社会保護システムの開発を支援するために制定されたプログラムです。しかし、このプログラムは既に多くの国々に適用されており、追加資金がなければこれ以上新たな国への支援を実施することができません。危機が発生した時の即時対応を可能とする基盤構築のためのこうした支援は、実際の危機発生時のプログラム拡大のための資金確保の方がより優先されているため、これまで重視されてきませんでした。

世界銀行の既存の資金を活用すれば、基盤の構築を可能とする方法は幅広くあります。この中には、緊急社会対応プログラムへの資金の再配分や、国別援助政策における社会保護の優先化、銀行の総収入のより多くの部分を低所得国の社会保護に向けるといったことが含まれます。

メキシコ大統領が議長を務める G20 は、社会保護のギャップに焦点を当てる比類のない、かつ時宜を得た機会となります。G20 の国々は、開発途上国政府と共有できる社会保護システムの大変貴重な経験を有しており、2011 年に G20 は知識を共有するプラットフォームの構築と社会保護における国際機関間の緊密な協力関係の公式化にコミットしました。全ての政府と関係機関が、脆弱な地域社会を守り、彼らの生活を改善するため、共により一層の取り組みを行わなければなりません。

### セーブ・ザ・チルドレンは危機対応と包摂的成長について G20 に求めます:

- 低所得国が危機発生時に貧しく脆弱な人々を保護するための社会保護システムを構築し、発展させ、資金投入できるよう支援するため、以下の取り組みを実施:
  - 世界銀行が運営する緊急社会対応信託基金への追加資金の提供
  - 低所得国の社会保護システムの開発および改善のため、国際開発協会を通じた世界銀行の資金拡張策の選択肢の提示を世界銀行に依頼
  - 社会保護分野の新たな協力の枠組みをロス・カボスサミットにて立ち上げ、全ての低所得国において、栄養不良削減への取り組みを含む、セーフティネット構築の準備状況について喫緊に評価を実施
  - G20 各国のセーフティネット構築と資金投入に関する経験を踏まえた低所得国向けの政策指針の開発

## 脚注

---

- <sup>1</sup> S Grantham–McGregor, et al ‘Development potential in the first 5 years for children in developing countries’, *The Lancet*, 369: 60–70, 2007.
- <sup>2</sup> Horton op cit; and Horton et al op cit.
- <sup>3</sup> *The Lancet*, ‘Maternal and Child Undernutrition’, Special Series, January 2008
- <sup>4</sup> Save the Children, *A Life Free From Hunger: Tackling child malnutrition*, February 2012
- <sup>5</sup> World Bank, ‘Food price hike drives 44 million people into poverty’, 15 February 2011, available at: <http://go.worldbank.org/OFGV8BZN20>; and World Bank, ‘Crisis hitting poor hard in developing world, World Bank says’, 12 February 2009, available at: <http://go.worldbank.org/PGNOX87VO0>
- <sup>6</sup> World Bank, *Global Economic Prospects – January 2012: Uncertainties and vulnerabilities*, 2012
- <sup>7</sup> G20 Agriculture Ministers *Action Plan on Food Price Volatility and Agriculture* June 2011. Available here: [http://www.g20-g8.com/g8-g20/root/bank\\_objects/ANG\\_20110623\\_PLAN\\_D\\_ACTION\\_AGRI\\_vANG.pdf](http://www.g20-g8.com/g8-g20/root/bank_objects/ANG_20110623_PLAN_D_ACTION_AGRI_vANG.pdf)
- <sup>8</sup> See, for example, the World Bank press release, ‘World Bank projects global slowdown, with developing countries impacted’, 18 January 2012, available at: <http://go.worldbank.org/MXG97J3RE0>
- <sup>9</sup> Save the Children, *Costing Lives: The devastating impact of rising and volatile food prices*, Save the Children, 2011
- <sup>10</sup> World Bank, *Global Economic Prospects – January 2012: Uncertainties and vulnerabilities*, 2012.
- <sup>11</sup> President Felipe Calderon remarks at the 2012 World Economic Forum, Davos. Available here: <http://www.youtube.com/watch?v=cyjQw1gGBxY&feature=relmfu>. See also BBC article: ‘[Davos 2012: Working to prevent a “lost generation”](#)’, 26 January 2012.
- <sup>12</sup> L’ Aquila Joint Statement on Global Food Security, available at: [http://www.g8italia2009.it/static/G8\\_Allegato/LAquila\\_Joint\\_Statement\\_on\\_Global\\_Food\\_Security\[1\],0.pdf](http://www.g8italia2009.it/static/G8_Allegato/LAquila_Joint_Statement_on_Global_Food_Security[1],0.pdf)